

2026 年度活動計画（案）などを確認！

退職者の会全国総会・東京地方総会

平和と民主主義を守り、安心して暮らすための
取り組みを進めよう！柴愼一氏の再選目指そう！

7月7日 第12回全国総会を開催

大塚・ホテルベルクラシック東京



7月25日 東京地方定期総会開く

新宿郵便局 9階大会議室



JP 労組退職者の会は、2025 年度活動報告、決算、2026 年度活動方針(案)の審議を行う為、7 月 7 日全国総会、7 月 25 日東京地方総会を相次いで開催しました。

全国総会では、最重要課題である会員拡大について議論され、①退職者の会役員が高齢化し、退職者との接点がほとんどない、②現役役員との情報交換も行っているが正会員加入に繋がっていないなどが訴えられた。

東京地方総会でも、現役役員に頼らざるを得ない現状の訴えがある中、女性会員交流会など、親睦交流を図る取り組みなど現役組合員を巻き込む活動のさらなる展開を求める声も出されました。

総会は提案・報告すべて承認されました。



東京退職者の会では①現退一体での会員拡大の取り組み、②3・10 東京平和集会の開催、③女性交流会「ミモザの会」の継続開催、④柴愼一氏の参院再選目指す取り組みを展開します。

女性会員交流会「ミモザの会」

「平和とジェンダー平等」

平和は願うものではなく、つくるもの

5月23日・新宿郵便便局9階大会議室



東京退職者の会の女性会員交流会「ミモザの会」が開催されました。当日は男性会員の参加もあり、45名の参加者でした。

講師には退職者連合の野田那智子会長にお願いし、テーマは「平和とジェンダー平等 平和は願うものではなく、つくるもの」と、今日の混迷の国際社会、「選択的夫婦別姓」問題をすり替えるなど高市政権の横暴な国会運営を指摘、軍拡増税、殺傷能力ある武器輸出を進めるなどの政策遂行を非難。また、ジェンダー平等ではアイスランドの取り組みや日本の現状などについて話され、誰もが人生の目標を自由に追求できるジェンダー平等社会の実現をめざしましょう。と閉められました。

火災共済・自然災害共済・交通災害共済・生命共済・マイカー共済・大型生命共済きずな
各種ご相談受け付けます

JP共済生協 0120-562-105

各種保険の相談は (株) 郵 愛

(がん) 0120-025-915

(自動車) 0120-025-315

(医療) 0120-221-220

東京高退連が

6・4 巣鴨街宣行動

年金・医療・介護制度の改悪を許さず、
高齢者が安心して暮らせる社会づくり訴える



東京高齢・退職者団体連合会(東京高退連)は、毎年4月、とげぬき地蔵とおばちゃんの前宿と高齢者の人気の街・豊島区巣鴨で街頭宣伝行動を行っています。今年も降雨に見舞われ3度の日程変更を経て、6月4日に実施できました。

JP退職者の会高木会長が、今年度東京高退連会長に就任、代表して街頭の皆さんに、食料品を始めとした諸物価の狂乱の高騰に見舞われている状況、「年金・医療・介護」制度の改善をもとめ取り組んでいる状況を訴えました。

告 示

JP労組東京南連協退職者の会 第12回定期総会開催のお知らせ

JP労組退職者の会運営規則第37条により、JP労組東京南連協退職者の会第12回定期総会を招集します。

記

名称: JP労組南連協退職者の会総会

日時: 2026年9月19日(土)14:00～

会場: 渋谷郵便局7階会議室

議題: 2025年度活動報告・会計報告

2026年度活動計画・予算(案)

以上

社会保障制度改革国民会議は、 本来の「社会保障制度改革」の検討を行え！

——まず財源確保策を明らかにするべきだ！——

「社会保障制度改革国民会議」において、社会保障制度全般の議論を行い、「中間とりまとめ」を公表しました会議では、現役世代と中・低所得者の「給付と負担」のあり方を中心に「食料品の消費税2年間の減税」と、「給付つき税額控除（現金給付と減税の組合せ）」の検討が行われました。

＜消費税減税に批判的意見も＞

新聞報道によれば、国民会議の委員からは「食料品の消費税を2年間ゼロにしても、財政が悪化し円安が続き、さらに物価が上昇し家計の負担額が増える」、「2年間の時限措置なら給付でも良い」など、消費減税に対する批判的な声も出ています。

そんな時（5月13日）、日本も加盟する OECD（経済協力開発機構）は、「日本の財政委健全化に向けて」と題する提言を発表した。

その内容は、（1）日本は消費税を18%まで段階的に引き上げ財政の健全化を図るべきだ。（2）食料品の消費税ゼロはコストがかかり、高所得者優遇だと批判。消費税は中立性があり安定財源だ。（3）日本の消費税は、OECD 加盟国平均の約半分程度だ。毎年1%ずつ引き上げて18%にするべきだ。（4）補助金づけは段階的に廃止し低所得世帯をターゲットにした支援にとどめるべきだ。

この提言は、我が国の財政赤字の解消なくして国民生活の豊かさはないとの指摘でもあります。こうした有効な物価対策が講じられない現状に、国民民主党は中・低所得者層に5万円給付を政府に迫っている。

＜「給付つき税額控除」で乗り越えるカベは＞

この制度は、所得に応じて所得税などから一定額を控除しきれない分を現金で給付する制度です。これに対して委員からは「制度が複雑で事務の効率化が必要」、「所得に応じた給付に一本化すべき」などの意見が提起されています。

しかし、所得把握が厳格に行われていない日本

では難しく、この問題を将来の検討課題として先送りしています。この取り組みなくして本来の「給付つき税額控除」は実現しないでしょう。

＜ベーシックサービス

（基礎的サービス）の検討を！＞

これまでベーシックサービスの必要性を主張してきました。この制度は、誰しが必要とする幼小保育や学校教育、医療、介護、障害福祉などを無償化する制度です。私たちは、所得格差によって、例えば「大学入学や大病院への入院をあきらめる」といった社会を改革する必要があると思っています。そのため、EU 並みに消費税を6%（毎年1%ずつ6年間）引き上げ、すべての人がベーシックサービスが受けられる社会づくりをめざしたいと思っています。

現在、議論されている消費減税は、食料品を0%にすると2年間で10兆円の税収不足になるといわれています。その代替財源をどこから持ってくるのでしょうか？今まで繰り返されてきた定額減税、給付金支給は赤字国債発行など借金財政でした。

この夏のガソリン代補助に加えて電気・ガス料金を補助するための暫定予算が組まれました。私たち国民にとって異常な物価高から生活を守るためには国の支援が不可欠だと思っています。国民会議の議論を否定するものではありません。

しかし、物価高の要因の一つである輸入物価の上昇につながる円安・ドル高対策や補助金・給付金といった対症療法を抜本的に見直す必要があります。そのためには「OECD 提言」の指摘を重く受け止め、国民会議で「ベーシックサービス」の検討に着手し、中長期の社会保障制度改革（案）を明らかにして生活不安、将来不安の解消に努めるべきです。次世代に安心と夢を残しても、赤字国債は残してはいけません。それは私たちの責任です（渋谷目黒支部・青木研一幹事の原稿を抜粋）

<< 会 員 動 静 >> (26 年 4～7 月・敬称略)

◎喜寿 おめでとうございます

荒木美佐子	260418	東京かんぽ	星 照子	260422	渋谷目黒
田中 時夫	260504	港	斎藤 勝雄	260505	港
逸見 延子	260510	東京かんぽ	小葉竹 昇	260514	港
堀内けい子	260523	東京かんぽ	末光 孝	260606	世田谷
田中 治男	260619	渋谷目黒	佐藤 俊行	260717	港
小川 幸二	260719	港			

◎香料 ご冥福をお祈り申し上げます

山下 晴樹	260416	世田谷	猪狩 忠巳	251221	東京かんぽ
齊藤 芳雄	251130	世田谷	稲川 英厚	260619	品川
逸見 光之	260102	渋谷目黒			

世田谷支部が定期総会を開催

7 月 18 日 尾山台・峯山で懇親

世田谷支部退職者の会(難達綱代会長)が、定期総会を 19 名の会員を集め開催。

岩手から参加の沼倉富雄さんの近況報告、また、当日参加の瀬戸正幸さん(3 月末千歳局退職)から加入申出を受け、拍手で歓迎されました。

<< 編 集 後 記 >>

7 月 28 日の「令和 8 年熊本地震」で亡くなられた方、被災された皆様にお見舞い申し上げます▼日本各地で「猛暑」「酷暑」が続き、高齢者のみならず「熱中症」で健康被害を起こされる方が続出▼連日「危険な暑さ」と注意喚起されています▼くれぐれも注意をお願いします。無理は禁物です(き)

全国高齢者集会に参加しよう！

2026全国高齢者集会を開催

○日時 2026 年 9 月 15 日(火) 12:30～

○会場 響きの森文京公会堂
(文京シビックホール)

○主催 日本退職者連合

○参加要請 JP 労組 130 名
東京 67 名(うち南連協 10 名)
参加希望者は支部役員まで。

○交通費 実費を支払います

参加申し込みをお待ちしております。

「核兵器廃絶 1000 万署名活動」 ご協力ありがとうございました

=====

JP 労組退職者の会は、連合などが呼び掛けた「核兵器廃絶 1000 万署名」に協力してきました。

●連合の最終集計: 5, 240, 255 筆

●JP 労組退職者の会集計: 29, 226 筆 (署名用紙: 28, 717 筆、オンライン署名 509 筆)

●南連協集計: 353 筆 (署名用紙: 308 筆、オンライン署名 45 筆)

ご協力いただきました会員の皆さんに感謝を申し上げます。

私たち退職者の会は、これからも「3・10 東京平和集会」を始め、平和を求める活動を展開します。